

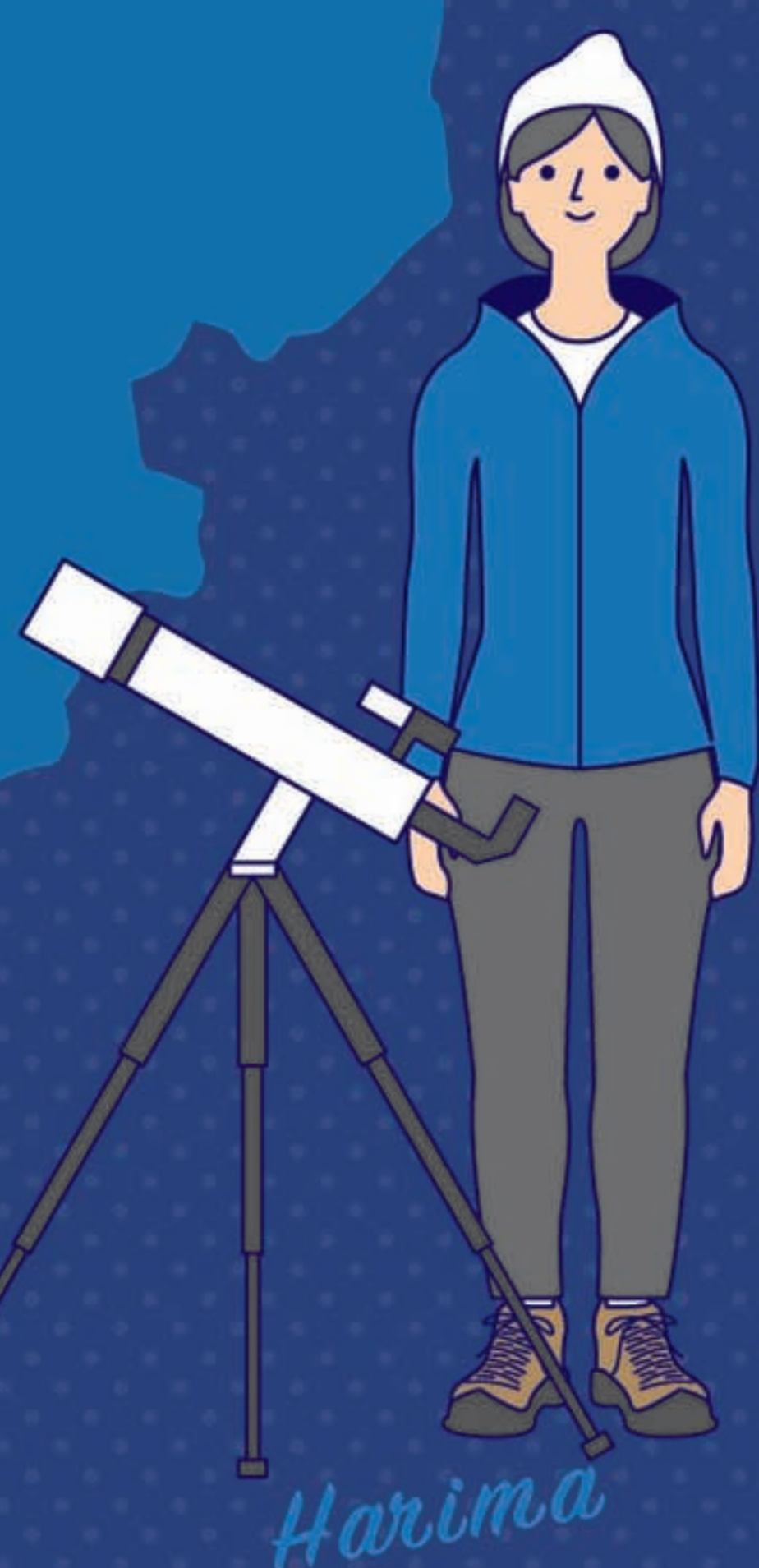
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所

30周年記念シンポジウム

第21回知の創造シリーズフォーラム

自然から学び、 自然を楽しみ、 そして 自然と共生する

自然・環境科学研究所のこれまでとこれから



基調講演

山極 壽一

総合地球環境学研究所所長

「ゴリラに学んだ自然の
仕組みと人類の進化」

日時

2023年2月23日(木・祝)
13:00-17:00

現地
会場

神戸国際会館9階大会場
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通8丁目1-6

定員

現地会場80名(要申込)
現地会場とオンラインにて同時開催

主催:兵庫県立大学自然・環境科学研究所

共催:兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県森林動物研究センター、兵庫県立淡路景観園芸学校

後援:兵庫県立コウノトリの郷公園



兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO

概要

日時 2023年2月23日(木・祝)
13:00-17:00

現地会場 神戸国際会館9階大会場
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通8丁目1-6

定員 80名

兵庫県立大学自然・環境科学研究所は、1992年に開設して30年となりました。博物館をはじめ、コウノトリの野生復帰や緑地の創出、野生動物管理など、兵庫県の基幹プロジェクトを担う行政機関における研究員・教員を兼務して、実務と研究を結びつけた取り組みをおこなってきました。このスタイルは、開設当初から「大学による地域貢献の新しいモデル」として注目されており、現在も全国的にユニークな取り組みとして知られています。30年目を迎えて、これまでの成果を報告すると同時に、これからの展望について議論したいと思います。

主な内容

基調講演

山極 壽一 総合地球環境学研究所所長
「ゴリラに学んだ自然の仕組みと人類の進化」



【略歴】1952年東京都生まれ。京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。ルワンダ共和国カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。著書に『京大というジャングルでゴリラ学者が考えたこと』(2021年、朝日新書)など多数。

話題提供



高野 温子 教授(自然環境系)
「人と自然をつなぐ科学 博物館という場を活かす」



横山 真弓 教授(森林動物系)
「人と野生動物との共存をめざす科学」



伊藤 洋一 教授(宇宙天文系)
「宇宙は一番大きな自然」



大迫 義人 教授(地域資源マネジメント系)
「コウノトリ野生復帰プロジェクト
-レジデント型研究者の苦勞と喜び-」



豊田 正博 教授(景観園芸系)
「心地よい緑の景観が人を癒す
-3分間のネイチャーブレイク-」

山極壽一氏ならびに話題提供者によるパネルディスカッション

お申込み・お問合せ

電話 078-794-6653 (兵庫県立大学 社会貢献部地域貢献課)
※お申込みの際は、参加場所(現地会場・オンライン)、参加者全員のお名前、連絡先、団体名(個人以外の場合)をお知らせください。

氏名、電話番号、参加人数、受講会場、住所をご記入のうえ、以下まで送付ください。

FAX 078-794-5575 (兵庫県立大学 社会貢献部地域貢献課)
メール chiikikouken@ofc.u-hyogo.ac.jp (兵庫県立大学 社会貢献部地域貢献課)

※お申込み後(お電話以外)、当方から受付確認のメール、FAXを返信いたします。数日中に届かない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いします。

メール送信画面



受付申込締切日:2023年2月15日(水)(現地会場・オンラインともに) ※現地会場については定員に達し次第、受付を終了します。

FAX用参加申込書(兵庫県立自然・環境科学研究所30周年記念シンポジウム申込)

参加者情報	フリガナ	電話番号	FAX番号	参加人数 名
受講会場	どちらかを○で囲んでください 現地会場 ・ オンライン	メールアドレス(オンライン参加の場合は記載ください、URL・パスワード等をお知らせします)		
ご住所(任意)	(〒 -)			

※ご記載いただきました個人情報は、当シンポジウムの運営以外の目的では使用いたしません。また、シンポジウム終了後は廃棄処分いたします。
※当日は密を避けるため参加人数を限定し、換気対策、検温の実施など感染症拡大防止策を講じます。 ※お手数ですが、参加者の皆様もマスクの着用等にご協力いただきますようお願いいたします。